

避難時の注意点について

【避難するとき】

- 器具栓、ガスの元栓、メーターの上流側にあるガス栓、容器バルブをすべて閉めてください。なお、容器バルブは、時計が進む方向と同じで、右に回すと閉まります。
- 容器が倒れたり流されたりしないよう、しっかり固定されていることを確認してください。

【帰ってきたとき】

- 水が引いていても、設備が損傷していることで思わぬ事故が発生する恐れがあります。被害を受けた場合には、LP ガス販売店の点検調査を受けるまでは設備に触らないようにしてください。
- ガスの供給を再開する場合、以下の点にご注意ください。
 - ✓ ガス栓や器具栓が閉まっていることを確認してください。
 - ✓ 停電時により給排気設備が作動しないと CO 中毒の恐れがあります。
 - ✓ 排気筒や排気ダクトなどが損傷している場合には、燃焼器の使用は控え LP ガス販売店に連絡してください。
 - ✓ ガスが使えない場合、マイコンメーターがガスを遮断している可能性があります。その場合、マイコンメーターにある「復帰ボタン」を押して、ガスの供給の再開を試みてください。
 - ✓ 「復帰ボタン」を押してもガスが使えない場合には、漏えいの可能性があります。何度も復帰操作をせず、LP ガス販売店の点検調査を受けてください。

【避難所での注意】

- LP ガス販売店、避難所の管理者の指示を守ってください。
- 燃焼器の接続は、LP ガス販売店の指示を守ってください。接続方法を間違えるとガスが漏えいする恐れがあります。
- 一つの容器にたくさんの燃焼器具を接続しないでください。ガスの供給が追い付かず、立ち消えを起こすことがあります。
- 炊き出しのための燃焼器は、事前に取り扱い方法を十分ご確認ください。器具栓を開けたままではガスが漏えいし続ける場合があります。
- 点火に手間取ると、周囲に滞留したガスに引火する恐れがあります。点火しなかった場合は数分おいて、周囲にガスのにおいがしないなど、安全を確認したのち、改めて点火してください。